

第2校歌「緑の子」
合唱練習
スタート!!

緑

の

風

vol. 8



子どもたちの想いがつまった

「緑の子」、誕生!

(第2校歌)

10月15日、創立15周年記念セレモニーが開かれました。

10年ごとの式典では立ち会えない学年も出てくることから、みんなでお祝いでできる機会をと、神本校長先生の想いから生まれたセレモニー。

その中で発表されたのが、第2校歌です。

つづき 子どもたちの想いがつまった、「緑の子」誕生！

第1校歌は、初代校長である角田先生が描いたビジョンでした。その中で学び、巣立っていった卒業生は1,313名。緑が浜小学校というアイデンティティが生まれ、根つき、今の在校生に受け継がれています。そこで、「第2校歌は、子どもたちからのメッセージにしたい。」神本校長先生はそんな風に思い、6年生からプロジェクトメンバーを集めました。

立候補してくれた6名は、作詞を全て丸投げで依頼するのではなく、在校生の意見を取り入れようと奮闘。「緑小はどんな学校か、どんなところが好きか」という声を拾うことに。1、2年生のクラスにはメンバーが出向いて説明し、話を聞き取りました。3、4年生には説明をし、先生の力も借りて意見を出してもらいました。5、6年生は自分たちで話し、意見を出してくれました。こうして集めたクラスごとの意見から、メンバーは自分たちの中に、緑小のイメージを落としこんでいきました。そこで生まれたイメージ、キーワードを、緑小みんなの声として、作詞・作曲をしてくれるアクアマリンのミマスさんに届けました。

直接会って話す機会を希望されたのは、ミマスさん。メンバーの話丁寧に聞いてくださり、ミマスさんは、「この意見を第2校歌に使います」とおっしゃってくれたそうです。その後、校内の様子もじっくり見ていかれました。

そして迎えた15周年記念セレモニー。プロジェクトメンバーも初めて聞いたその歌は、アンケートで出た「緑の子」がタイトルに！歌詞にも、メンバーがまとめた子どもたちの意見がちりばめられ、学校生活がぎゅぎゅ詰まった歌に仕上がっていました。

世界で いちばん すてきな 町に
くらす 絆で ここに出会えた
世界で いちばん すてきな 友達
手をとって いつでも ともに学ぼう
ぼくたちは緑の子
だいすきな この学校
しおかに はじける
まぶしい 笑顔

海原に かかる 虹のように
花が 咲きほこる 野原のように
ひとり ひとりの 心の色を
あわせて 大きな 絵を描こうよ
わたしたち緑の子
だいすきな この学校
大空に ひろがる
やさしい 笑顔

みんなみんな 緑の子
だいすきな この学校
いつまでも 忘れない
みんなの 笑顔
いつまでも 忘れない
この 宝物



懐かしい・新しい給食

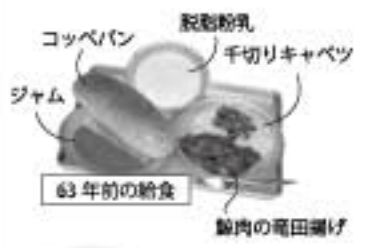
9月17日、今年も秋の給食試食会が開かれ、祖父母・保護者計43名が参加しました。遠方からの参加もあり、ふだん知ることができない給食の雰囲気味わうひと時を楽しみました。



孫の給食試食会に初めて参加いたしました。教頭先生のご挨拶から始まり、落研の学生さんによる落語で笑いを提供していただき、和やかな雰囲気の中で試食をさせていただきました。給食を食べたのは何年前でしょうか、五十七年前のことです。当時のミルクは脱脂粉乳で、あまり美味しいものではありませんでしたが、それでもまだまだ戦後のものが豊かでない時代、貴重でした。卒業する頃からやっとなりの牛乳になり、味わいながらいただいたものです。またお肉というのは大変豪華なもので、出てきたのは鯨肉、それでも喜んでいただきました。バランスの良い、恵まれた現代の給食に感謝しながら、豊かそして幸せな気持ちでいただきます。御馳走様でした。



昭和27年(今から63年前)、全国すべての小学校で学校給食が始まりました。



六年間で一番最高の思い出に ～6年 修学旅行 in 日光 9月17日・18日～



あいにく雨が降ったり止んだりのお天気でしたが、子どもたちはそんなの関係ない！とばかりにテンションMAX。辻堂駅から修学旅行専用電車に乗り、いざ日光へ。ハイキングはできなかつたけれど、代わりのバス移動は楽しかったし、華厳の滝は噂通り迫力満点。事前学習をした日光東照宮(フラワー・バスケットは見つけたかな?)では、グループで協力しました。さてさて、そんな修学旅行の目標でもある最高の思い出、どんな最高の思い出か子どもたちに聞いてみました。

- ・日光東照宮に行ったこと！
- ・お金を洗った時！
- ・ホテルでの自由時間。
- ・ホテルの部屋が楽しかった！
- ・部屋で：恋バナ！
- ・夜！！

やっぱり、友だちや仲間と一緒に過ごす時間がサイコー!!!なんですね。

6年担任 角田弘先生
電車の中とホテルでの自由時間、お土産コーナーにいる時(特に、木刀を手に入れた時!)はみんなすごく嬉しそうに楽しそうでした。逆に、東照宮でのグループ活動や班長会議、外国人の方へのインタビューは緊張しながらもとても集中していました。行動もテキパキしていて最高の思い出にふさわしい修学旅行でした。

11月2日、平成27年度茅ヶ崎市教育委員会表彰式・感謝状贈呈式が実施されました。学校の児童生徒の登下校時の見守りに活躍されている方々や学校と地域の連携に活躍している方々への感謝状ということで、本校の見守り隊から、弓削さん、岩淵さんのお二人が表彰されました。いつも子どもたちの為に、ありがとうございます。





R.Y.U.S.E.I.
1年生



たまいれ
1年生



組立体操 - 燈 -
6年生

運動会を支えてくれたみんな！
下級生を温かく見守り、運動会全体を支えてくれた縁の下の力持ち、
ありがとうございます！



わくわく大玉ころがし
2年生

ともに戦え



騎馬戦
6年生



わくわくダンス
2年生



2015
10.31
運動会

海の子たち!!



緑小ソーラン - 炎舞 -
5年生



ハッピー・ハッピー・ハロウィーン
3年生



ぐるぐるタイフーン
4年生



トリック・オア・トリート
3年生

ダイナミック琉球
4年生



旗取り競争
5年生



「ここがヘンだよ! 授業参観」

学校へ行こう週間(11月16日~20日)、皆さんは学校に行かれましたか?そしてそこで、何か感じましたか?実は私、感じちゃったんです。授業参観や懇談会って先生によって多少の違いはあるものの、今まで特に大きな疑問も持っていませんでした。でも…どこの学校もこれが普通なの?いや、普通って何?と思ひ始めたらもう止まらない、ならば聞いてみるしかない!ということで、先生、子ども、保護者の三方向それぞれの目線からみた授業参観について疑問、質問、ご意見等ど〜んと聞いてみました。

子ども

- ・来てくれるとすごく嬉しい!
- ・何回も来て欲しい!
- ・緊張して、いつもは手を挙げられるのに挙げられなくなっちゃう。
- ・お母さん同士で、後ろでヒソヒソ話するのが気になる。やだ。
- ・ガム噛みながら見てる人がいた。それはダメだと思う。
- ・休み時間に一緒に遊んでほしい!



先生

- ・できるだけ学校にお越しください。
- ・子どもたちが少し緊張しているので、普段の様子と違うかもしれません。色々な授業を見て頂けると、クラスの様子や雰囲気がよくわかると思います。
- ・保護者の方向士おしゃべりが弾む気持ちも分かりますが、せっかく参観にいらして頂いてお控えください。
- ・1時間目の参観ができないのは、いつも通りの環境の中で、子どもたちの健康観察やその日の様子をきちんと把握したいため。給食中は、落ち着いて配膳や食事をするためと、衛生上の管理面からご遠慮いただいています。

保護者

- ・授業の仕方をとても工夫されている先生がいて、楽しく参観出来ました。
- ・初めてだったので、廊下から見ると中に入っているのかわからなかった。
- ・私もしゃべってしまいますが、ずっとしゃべっている人がいると気になります。
- ・皆さん格好がラブで驚いた。それだけ学校がオープンということでしょうか…

言いたい放題で
すいません!

ここへん 番外編 ~懇談会~

- ・参加保護者全員が順に話をするのは、とても緊張します。それに代わるやり方はないのでしょうか?
- ・事前にテーマを募集したらどうでしょう?
- ・何を話すのか、何を話し合うのか予告してほしい。



初代校長 角田先生 来校

前回の「緑の風」読んでいただけでしょうか。あの伝説の!?初代校長角田明先生が授業をされるということで、早速お会いして来ました。

9月14日(月)、この日は元中学校の英語の先生であった角田先生が、6年生の英語の授業をされていました。「Don't worry」というDVDを見ながらの楽しい授業でしたが、時には「その発音は違うぞ、こう」「まだ違う、良く聞いて」「そう聞こえるか、もう一度」と、子どもたちに何度も発音させる場面もありました。

授業を終えた角田先生に、短い時間ではありましたがお話を聞かせて頂きました。



緑小の子どもたちの印象はどうか。

育ちが良いし、センスが良いですね。発音で何回もやり直させましたが、みんな喰いついてきてたでしょ。難しいから出来ないではなく、ダメって言われても喰らいついていく。学問に対して投げやりがないよね。まだ、まだ、と言うと、自信喪失しちゃう子もいるからね。

センスが良いなんて嬉しいですね。前回のインタビューでは、学校と親の関わりについてお話を聞きましたが、今回は子どもに対する親の関わり方についてお聞かせください。

親も子どもと同じ。親が家で勉強する姿を見せて欲しいですね。例えばアカデミックなブログでもいいんです。この文章どう?って子どもに聞いてください。色々な物事や新聞記事なんかも、「これいいね」じゃなくて「これどう思う?お母さんはどう思うんだけど」といった刺激を与えて欲しいですね。それと、余計な干渉をしないことが大切です。例えば子どもが「怒られた」と言ってきた時、「あなただけが怒られたの?」「そんなことで怒られたの?」ではなく、誰に・何で・その時の気持ちは、と話せる親でいてほしいし、何が原因だったのかきちんと見てあげて欲しいです。

子ども可愛さについつい余計な干渉をし過ぎることってありますよね。気を付けなきゃ。まだお聞きしたいことはありますが…、またお会いできるのを楽しみにしています。

先生! 質問です!

初代校長角田先生が来校された際、先生方への授業のご指導や講演、研究授業を行ったそうですが、緑小の先生方は具体的にどのような授業や学級運営を目指しているのですか? 答えてくださるのは、神本直子校長先生です。

「秘められた宝」

今年12月に市の推薦研究の発表をいたします。「つなげる 深める 緑の子」という研究テーマを掲げて、次代を切り拓いていく力を身に付けさせるべく研究を重ねてきました。本校は、開校以来ずっと研究に力を入れてきた学校です。人は入れ替わりりましたが、教育の理念は色褪せることなく、受け継がれています。

ユネスコの21世紀教育国際委員会の報告書に、象徴的な話があります。ラ・フォンテーヌの寓話「黒天とその子供たち」です。黒地の中に宝物が隠されていると死期に際した父親に言われた子供たちは、その後黒地を深く掘り起こします。しかし宝物は見つかりません。そのかわりよく耕された黒地からは翌年豊かな収穫が得られるようになります。黒天は死に際して子供たちに労働することこそが宝であること、を教えたよつとしたという話です。ここでの労働を学習におきかえ、自分の中にある潜在的な能力、それを秘められた宝にたとえ、それを掘り起こすことが学びの原動力になるとのメッセージがこめられています。

学ぶという事は、学校だけで縛結するものではありません。自らの意思であらゆる環境から学びとろうとする態度を身に付けて欲しい。学校生活の全てにおいて子供の主体性を伸ばすよう私たちは取り組んでいます。

人として
子どもたちが
教師と親が
喜びも楽しみ
も分かち合え
る学校づくり
に邁進してい
きたいです。





パパボラ、次の活動は何ですか？何か計画しているんですか？と尋ねたところ、刈間会長が目キラキラさせながら答えてくださいました。「うん、色々」「色々？何ですか？」「色々やってみようかなとあるんだよね」ということで、今回は、刈間会長にその夢を語っていただきました。



三橋卯之助さんが語る茅ヶ崎の歴史を伝えたい

10月に、3年生が授業内で「三橋卯之助さんが語る茅ヶ崎の歴史」を学習しました。これは、先生が企画を立ち上げ実現したのですが、それとは別に、浜須賀小おやじの会との交流の中で、来年度は緑が浜小でもやりたいという話をしていたところでした。来年度は夏前に（浜須賀小おやじの会の協力で）P.G.T.主催で保護者向けに実施し、秋には緑が浜小パパボラが語り部となって実施したいと考えています。



校庭芝生化

緑が浜小学校の校庭は他校に比べて狭く、野球などボール遊びもままなりません。だからこそ校庭を、緑が浜小学校の名前の通り、転んでも膝に擦り傷をつくらぬような緑の芝生にして、子どもたちが思い切り走り回り、転げまわれる校庭にしたいのです。

緑が浜は、その名前の通りかつては緑の多い地域でしたが、どんどん緑が消え、今年最後の松ぞの公園も宅地になってしまいました。校庭の芝生化は、作ることもその維持管理のため地域の皆さんの協力が欠かせませんが、こうした状況の中、自治会ははじめ地域の皆さんにも歓迎されています。学校側にもいろいろな状況があると思いますが、パパボラを中心にまず声をあげることによって実現に向かって動き出したいと思います。



子どもと遊ぶ Day

パパたちが子どもたちと本気になって遊ぶ一日を作りたいというのが趣旨です。紙ひこき、ビーサン飛ばし、泥遊び、竹馬作りや流しソーメン…やりたいこと、やれること、みんなでアイデアを出し合って、子どもよりも親の方が楽しんでいるのではくらの勢いで、この日ばかりは子どもたちと本気で遊ぶ。そんな一日をパパボラで開催したいです。

どの夢も子どもたちへの愛があふれていますね。特に、芝生化には様々な意見が飛び交いそうですが、Jリーグでもグラウンドや校庭、園庭の芝生化の応援活動を行っていますし、最近では、競技場のようなピカピカのピッチでもなく、ゴルフ場のグリーンでもない、コストが安く維持も簡単で、雑草を活かしつつ、頻繁に刈って出来上がった転んでも痛くない絨毯のような形状芝生を目指す「鳥取方式」なるものもあります。子どもたちが、思い切り遊んでたくさん転んで、多くの地域の方で協力を目し、感謝の気持ちをもって成長し、同じように地域社会に協力できる大人になれば素敵ですね。

今後のパパボラの活動、楽しみにしています!! パパの皆さん、ご参加、ご協力お願いします。



パパボラの皆さま、

御満御給ありがとうございました!

編集後記

夏休み後は、全校での行事や学年での行事が目白押しで、広報としては何を取り上げるか悩みどころでした。その結果がこの号なんです… 皆さん、いかかだったでしょうか？意外と読み応えのあるものに仕上がったんじゃないかと自負しているんですが（笑）でもやっぱり、この記事を変えようとか写真が足りないとか、切羽詰まらないとやる気が…とか（笑）、直前はバツバツで、こうして紙面になって、皆様にお届けすることができ、本当にホッとしています。今回取材をさせて頂いて、子どもたちが緑小を大好きな気持ちや、色々な方々の子どもたちに対する愛が溢れているのを目の当たりにして、そんな時に親として学校と関わり、広報としてその思いを伝える機会が頂けたことにとっても感謝しています。（広報ボランティア：宅見・初鹿・森・吉竹）

仲間が一人増えました！やったー!!でもまだまだ随時募集中です。先生、役員さん、どなたでもいいので声をかけてくださいね。

